

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 29 年 12 月 25 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

| | |
|---|---------------------------|
| 実施団体 | |
| 社会医療法人宏潤会 大同病院 | |
| 企画名 | |
| 市民公開講座 健康セミナー「がんを知ろう！」第2回 | |
| 事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など) | |
| 3学区へのチラシの回覧およびコミュニティセンター内チラシ設置、 病院内でのチラシ設置、病院ホームページへの掲載 | |
| 当日の実施内容について | |
| 日時(期間) | 2017年12月16日(土)10:30~11:30 |
| 実施場所 | 白水コミュニティセンター |
| 参加人数 | 9 |
| 具体的な実施内容： 第2回はがんと緩和ケア、栄養をテーマに実施した。その中で緩和ケアについては「緩和ケアってなあに」という題で、緩和ケア認定看護師がリーフレットをもとに作成したスライドを使いながら、いつから、だれに、どこで緩和ケアを受けることができるかを中心に話した。リーフレットは、参考資料として参加者に渡し、話した内容と該当ページについて改めて伝えた。栄養の分野では、がん予防につながるような食生活を提案した。また食も緩和ケアの一環ととらえ、病気で栄養を十分に摂取できない時の助けとなる、栄養食(ドリンク・ゼリー)の存在も紹介した。 | |
| 効果について(アンケートの結果など) | |
| 参加者から「緩和ケアのイメージが変わった」と言葉をいただいた。当初は末期がん患者さんの“心のケア”とのみ考えていたようで、診断された時から緩和ケアを受けることができると初めて知ったとのことだった。緩和ケアの正しい理解につながったように感じる。また、がんサバイバーの方で、実際に緩和ケアを受けてみたいと考える人もいた。 | |
| その他報告 | |
| この市民公開講座は全5回、同時間で実施しており、次回以降は1月13日(土)、2月17日(土)、3月17日(土)に実施する。1月にも緩和ケアについて話すため、1月から参加する方にも参考資料としてリーフレットを渡す可能性がある。 | |

※公式ホームページ(緩和ケア.net)への掲載について
(掲載してもよい ・ 掲載しないでほしい)

- ポスター、チラシなどを作成した場合、添付してください
- 当日の様子(当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など)を添付してください

チラシ

市民公開講座
健康セミナー
がんを知ろう!

スタッフを駆使して、がんマスターを日替でどうぞ。このチラシがスタンプ台紙!

参加 無料 申込 必要

会場：白水仙コミュニティセンター 1階和室

1 11月25日(土) 終了しました。ご参加ありがとうございました。
「がん」ってなあに?・あはとは、がん検査を受けていますか?

2 12月16日(土) 10時30分~11時30分
がんとうちの生活の話 看護師・栄養士・管理栄養士
日頃の食生活とがんの影響/緩和ケアってなあに?

3 1月13日(土) 10時30分~11時30分
がんとうちの生活の話 リハビリスタッフ・理学療法士
がんとうちの生活と関係があるの?/緩和ケアってなあに?

4 2月17日(土) 10時30分~11時30分
がんとうちの生活の話 医師・管理栄養士
抗がん剤は怖くない!!/医療費は: 怖くないの!?

5 3月17日(土) 10時30分~11時30分
がんとうちの生活の話 社会福祉士・栄養士・管理栄養士・医師
がんに関する社会制度を知っていますか?
あなたならどうしますか?治療の選択

お申し込み方法
電話 052-611-6261 (内線3229)
FAX: 表紙を記入して 052-614-1036 へ送信
メール: 件名に「市民公開講座 健康セミナー参加申込」、本文に
氏名住所氏名 参加人数 希望席先を書き、mailto:ksk@ohp.or.jp へ送信

ましかい
社会福祉法人ましかい 代表理事 大石博典 〒457-0511 名古屋府城區日水町2番地
事務局 電話 052-611-6261 (内線3229) / FAX 052-614-1036

写真



「緩和ケアってなあに」講演の様子



「日頃の食生活とがんの影響」講演と栄養食紹介の様子

